

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

ケーブル耐火試験方法（小型加熱炉）

JCS 7502 : 2021

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

（一社）日本電線工業会

2021年10月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者又は規格の利用者の責任において行われなければならない。

この規格は、日本電線工業会 耐火・耐熱電線専門委員会の審議によって改正したものであり 2021 年 10 月 15 日から発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 加熱炉	1
3.1 構造	1
3.2 性能	1
3.3 試験	2
4 試験の種類	2
5 試験項目及び試験数	2
6 試験体の準備	3
6.1 露出用耐火試験	3
6.2 電線管用耐火試験	4
7 試験方法（露出用，電線管用）	5
7.1 加熱方法	5
7.2 試験項目	5
7.3 試験方法	6
解説	13

ケーブル耐火試験方法（小型加熱炉）

Fire resistance test methods with small-type furnace for fire proof cables

1 適用範囲

この規格は、平成 9 年消防庁告示第十号“耐火電線の基準”（以下、消防庁告示“耐火電線の基準”とよぶ）に規定される低圧耐火ケーブル（最大使用電圧が 60 V 以下の低圧耐火ケーブルは、小勢力回路用耐火ケーブルとよぶ。）及び高圧耐火ケーブルの小型加熱炉に適用する耐火試験方法について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む）は適用しない。西暦年の付記のない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

JIS A 1304 建築構造部分の耐火試験方法

JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材

JIS C 1602 熱電対

JIS C 8305 鋼製電線管

3 加熱炉

耐火試験に使用する加熱炉は、消防庁告示“耐火電線の基準”及び次による。

3.1 構造

加熱炉は、**図 1** に示す構造又はこれに準じた構造とする。

3.2 性能

加熱炉は、**3.3** の試験を行ったとき、**表 1** の性能をもつものとする。

表 1—加熱炉の性能

項目		性能
炉内温度分布 ^{a)}	標準加熱曲線の試験	JIS A 1304 に規定する標準加熱曲線 B に対して、 図 2 に示す温度測定点 A 点及び B 点の温度が±3 %の範囲内にあり、他の温度測定点の温度が±10 %の範囲内にあること。
	標準加熱曲線の 1/2 曲線試験	JIS A 1304 に規定する標準加熱曲線 B の 1/2 の曲線に対して、 図 2 に示す温度測定点 A 点及び B 点の温度が±3 %の範囲内にあり、他の温度測定点の温度が±10 %の範囲内にあること。
注 ^{a)} 加熱開始 5 分以内は、これらの範囲に入るように調整することを目指す。		